日産/NMC、富士24時間レースに参戦する「Nissan Z Racing Concept」を公開

日産自動車株式会社　　2022年06月04日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）と日産モータースポーツ＆カスタマイズ株式会社（本社：神奈川県茅ケ崎市、社長：片桐 隆夫　略称：NMC）は、6月4日、5日に富士スピードウェイにて開催される「ENEOS スーパー耐久シリーズ2022 Powered by Hankook 第2戦 NAPAC 富士 SUPER TEC 24時間レース」に参戦するレースカー「Nissan Z Racing Concept」（230号車、244号車）を公開しました。

日産とNMCは、新型「Nissan Z」（日本名：フェアレディZ）https://global.nissannews.com/ja-JP/channels/z

をベースとした「Nissan Z Racing Concept」で様々なモータースポーツカテゴリーに参戦する可能性を探るため、長年にわたるSUPER GTやカスタマーレーシングの車両開発で得た知見を活用し、本車両を新規で開発しています。NISMOチームから参戦する230号車はCNF（カーボンニュートラルフューエル）、Max Racingチームから参戦する244号車はガソリンを使用します。異なる燃料を用いて過酷な24時間耐久レースに挑戦することで、2台の「Nissan Z Racing Concept」をレーシングカーとして鍛え上げると同時に、CNFの可能性を探るための貴重なデータを蓄積し、将来の幅広いモータースポーツ活動への適応を目指します。

日産は2050年度までに製品のライフサイクル全体でカーボンニュートラルを実現することを目指しており、モータースポーツにおいてもその取り組みを強化しています。電気自動車のレースである「ABB FIAフォーミュラE世界選手権」には、日系メーカーとして唯一参戦しています。今回のCNFを使った取り組みも将来に向けて、カーボンニュートラルな幅広いモータースポーツの実現を見据えたものです。

日産のCOOであるアシュワニ グプタは、「私たちは、常に可能性の限界に挑み、イノベーションを追求しています。そして、ファンにワクワクをお届けすることにおいて妥協することはありません。エンジン音がもたらすワクワク感も、風を切る静かなスピード感も、どちらもお客さまに思う存分楽しんでほしいと思っています。日産は、日系メーカーとして初めて、そして唯一フォーミュラE世界選手権に参戦するなど、常に挑戦し続けています。今回『Nissan Z Racing Concept』で参戦する過酷な24時間耐久レースでは、CNFに対応した競争力の高いエンジンを開発するための貴重な知見を得ることができるでしょう」と語りました。

また、日産のモータースポーツビジネスユニットオフィスヘッドで、NMCの社長を務める片桐 隆夫は、「レースは過酷であればあるほど、多くのことを学ぶことができます。だからこそ、新開発の車両とCNFで24時間耐久レースに参戦するのです。将来の車両開発に向けて多くのデータとノウハウを獲得するのと同時に、ファンの皆様の期待に応える『Z』ならではの走りをお見せしたいと思います」と語りました。